

# おおくす



## 「そこ」に至るまでの過程が大切

校長 野田 恵美

11月7日に校区連合自治会主催「澁川音頭歌詞募集」の表彰式に参加しました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、2年連続で地域の盆踊りが中止となってしまったことがこの取組の始まりでした。「できないことを嘆くのではなく、できることから前向きにやろう!」「楽しめることを考えて、少しでも前に進もう!」という思いで、校区ふれあい盆踊り大会実行委員会の皆さんが中心となって進めた事業です。

夏休み前から地域や学校で募集をしたところ、小学生から来年90歳になるという方まで、幅広い世代から12名の応募がありました。

全作品を見せてもらいましたが、どれも澁川校区の緑豊かな美しい景色や住んでいる人の温かさが取り上げられ、それを未来に伝えていこうという思いを感じました。応募作品に地域の歴史を詳しく調べた資料が添付されているもの、作者の思いが別紙に綴られているものもありました。それを読むと、これまで自分が知らなかった澁川の歴史や変容を知ることができました。また、表彰式の後に、受賞者から歌詞を作ったときの感想や思いを聞く場面がありました。「応募がきっかけで、家族みんなで澁川の思い出をたくさん語りました」「この校区のよいところってなんだろう?と改めてじっくり考えました」「飛鳥時代からの直会神社の歴史や庄中の観音様のことを歌詞に載せました」など様々な思いを述べていました。この思いを共有する時間は、私を含め、その場に参加した方たちにとって、校区のことをより深く知るよい時間となりました。



今回の「歌詞を考える」という活動は、この地域についていろいろと調べたり、言葉を推敲したりした作者自身の大きな学びになったと思います。加えて、どのような思いでその言葉を選んだのか等を知ることで、その作品や作者に関わる人たちにとっても澁川を捉え直す機会となったと言えます。

「そこ」に至るまでの過程を通して、学びが広がっていったのです。



学校の学習においても同じような場面が数多くあります。国語で作品の読み取りをするときや算数の問題を解くときに、どんな根拠をもとにしてその答えを出したのかを問われます。図画工作や家庭科では、表面上の小綺麗さよりも、どのようなイメージや思いをもってその色や形を選んだのかを伝えることが重要になります。さらに、この自分の考えや思いを互いに発信し共有することで、新たな考えが浮かんだり、自分の考えと比較したりできるのです。学習指導要領においても学習の過程を大切に授業展開や評価の工夫をするよう求められています。ご家庭では、お子さんが持ち帰った作品や作文の「お気に入りの部分」や「がんばったところ」など、作ったときの思いを聞いてもらうと次への意欲につながります。

どんなこともその結果に至るまで、その作品ができあがるまでの過程の中に、学びを広げるチャンスや学ぶ力を伸ばすチャンスがあるのです。

## 【 6年生 修学旅行 京都・奈良 】

10月20日(水)、21日(木)に6年生が京都・奈良への修学旅行に行ってきた。天候にも恵まれ、体調を崩すこともなく、順調に全ての行程を進めることができました。感染症対策のため、バスに乗降する際や施設の見学の前にはアルコール消毒や検温をしたり、食事は常に黙食で行ったりしました。

平等院鳳凰堂の左右対称の美しさ、京都御所の荘厳さ、東大寺の大仏の大きさなど本物のもつ迫力に目を見張るばかりでした。

銀閣寺や法隆寺では見学の後にお土産を買いました。宿泊地では仲間と寝食を共にし、互いを気遣いながら集団行動の大切さも学びました。楽しい思い出がたくさんできました。



## 【 5年生 野外活動 郡上八幡 】

11月1日(月)・2日(火)に5年生が郡上八幡へ野外活動に行きました。キャンプ場の他に郡上八幡の城下町にも足を運び、水路のある町並みを見学しました。

キャンプ場に到着して入所式を行い、バンガローの中を整えた後は、待ちに待ったカレー作りです。自分たちで火をつけ、湯を沸かしたり、鍋で米を炊いたりしました。炊きあがった真っ白でおいしそうなお飯を見て、思わず「わあ」と声があがりました。

キャンプファイヤーはスタンツやLEDトーチのトワリングで盛り上がりました。担任の先生たちからのサプライズは、「挑戦」という火文字のプレゼントでした。何事にも挑戦していこうという気持ちがさらに高まりました。

互いに声を掛け合い、助け合った2日間。仲間の大切さを改めて感じたキャンプでした。



## 【 もしものときのために備えましょう 自主防災訓練 】

11月14日(日)に校区自主防災訓練が行われました。訓練内容は安否の確認訓練や避難誘導訓練、尾張旭防災リーダー会の皆さんによる最新の災害情報の講義と地震による家具転倒防止の実習でした。災害はいつ起こるかわかりません。もしものときのために、ご家庭でも話し合っておくとよいですね。



■テレビの転倒防止についての解説



■様々な転倒防止グッズ



■避難所のパーティション展示